

第8回江東区都市計画マスタープラン2022推進会議【会議録】

開催日時	令和6年1月29日(月) 書面開催		
委員 (敬称略・順不同)	志村 秀明(委員長) 村木 美貴、市古 太郎、川内 美彦、柳井 重人、森本 章倫		
区職員	都市整備部長、都市計画課長、まちづくり推進課長、安全都市づくり課長、 都市交通輸送計画担当課長、沿線まちづくり担当課長		
【議題】		【所管】	
(仮称)枝川駅周辺の地区まちづくりについて		沿線まちづくり担当	
【議事概要】			
No	該当資料	委員の意見要旨	区の回答要旨
1	資料3-2	<p>水辺について、資料で示されている「水辺や緑の魅力あふれるまちづくり」から一歩進めて「魅力的な景観づくり」を目指してほしい。</p> <p>また、市街地について、景観のポイントとなるような場所を示せないか。特に桜並木の保全と、それにつながる緑地の形成や、水辺へとつながる緑のネットワークはどうか。区で推進しているコミュニティガーデンの取組みがあり、区民との連携が考えられる。</p>	<p>資料3-2に記載の「基本方針」(案)は、まちづくり協議会における検討状況を示している。</p> <p>地域住民からは、まちの宝として運河や水辺の他に、「桜」に関する意見があり、協議会における検討状況においては、桜並木のある小学校周辺を地域コミュニティ形成の推進や、歩く楽しみを生み出す交流にぎわいネットワークと位置付けている。しかし、「水辺」や桜を含めた「緑」の具体的な景観のポイントや景観づくりまでの発展した意見には至らなかった状況である。</p> <p>今後、地域からのまちづくり提案を基にした地区まちづくり方針を策定していく上では、みどりの保全と緑化の推進を示した「江東区みどりの基本計画」や良好な魅力ある景観形成を示した「江東区景観計画」と整合を図りながら、区民と連携した取組みについても検討していく。</p>